

講義名	野外教育活動演習（キャンプ実習）			授業形態	
担当教員	内田 遼介 / 高橋 宏斗 / 水流 寛二	開講期・曜日・時限	前期集中 日曜日 その他		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生
				ナンバリング・コード	
主題と概要					
新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、レジャー活動が制限される中、登山やキャンプといった野外活動は密集を避けながら自然を満喫できる点から注目されている。しかし、自然環境を舞台にする野外活動は危険と隣り合わせであり、常にリスクを認識しながら活動を行う必要がある。そこで本演習では自然環境での野外活動体験を通して、リスクマネジメントや課題解決能力、グループワーク力を身につけることを目指す。本演習では具体的に、六甲山全山縦走コースの全56kmを3日間（1日目は日帰り、2～3日目は宿泊）に分けて踏破する。					
到達目標					
自然環境での生活を通じて、自ら判断し行動することができる。 グループでの活動を通して仲間と協力して助け合い、手助けできる。					
提出課題					
実習レポート					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
活動の内容に応じて個人またはグループに対して講評を行います。					
評価の基準					
取組状況・・・８０％ 提出課題・・・２０％					
履修にあたっての注意・助言他					
<履修計画に関して> 7月04日(火)12:20～12:50(予定) 事前研修 を教室内で行います。 7月11日(火)14:40～16:10(予定) 事前研修 を教室内で行います。 8月26日(金)07:30～14:00(予定) 学外研修1日目はJR塩屋駅から神戸電鉄越崎駅までを目指します。 8月28日(日)07:30～17:00(予定) 学外研修2日目は神戸電鉄越崎駅から神戸市立自然の家を目指します(当日は宿泊)。 8月29日(火)08:30～16:00(予定) 学外研修3日目は神戸市立自然の家のから阪急宝塚駅を目指します。 天候不良やその他の事情によって学外研修の日時や場所を変更する場合があります。変更する場合は事前に受講生に案内するようにします。 <その他> ・宿泊費(食費込み)と地図購入費あわせて4,300円程度が必要です(7月11日(火)の事前研修時に支払い手続きを行います)。 ・学外研修に必要なお金は個人負担となります。主に交通費(2,000円程度)や行動食・飲料の購入(1,500円程度)の他、安全に登山を実施するための装備(雨具、登山靴など)を購入する費用がかかります。 ・学外研修で必要な物については事前の説明会で指示するため、必ず出席してください。					
教科書					
.山と高原地図 六甲・摩耶 須磨アルプス.		昭文社編集部	昭文社	1210	9784398769848
参考図書					
.なし.					

その他		
授業に関連する資料については担当教員が印刷して配布する。		
授業計画		
< 事前研修 > 01 授業のねらい、グループ編成、学外研修に向けての注意点 02 講義「登山のリスク、地図の読み方について」 < 学外研修1日目[日帰り] > 03 六甲全山縦走コースのうちJR塩屋駅から神戸電鉄越崎駅まで 04 同上 05 同上 06 中間レポートの作成 < 学外研修2日目 > 07 六甲全山縦走コースのうち神戸電鉄越崎駅から神戸市立自然の家まで 08 同上 09 同上 10 同上 11 夜間 講義「登山が身体的健康に及ぼす効果について」 < 学外研修3日目 > 12 六甲全山縦走コースのうち神戸市立自然の家から阪急宝塚駅まで 13 同上 14 同上 15 最終レポートの作成		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
☐	ア：PBL（課題解決型学習）	☐ イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
☐	ウ：ディスカッション、ディベート	☐ エ：グループワーク
☐	オ：プレゼンテーション	☐ カ：実習、フィールドワーク
☐	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間		
< 予習 > ・指定する資料を熟読し、要点をまとめておくことを求める（1時間程度）。その他、学外研修当日までに、指定された用具を準備すること、ハイキングに関連する基礎知識について理解すること、野外教育活動がもたらす身体的効果・心理的効果について理解すること、野外活動のリスクについて理解することを求める（1時間程度）。 < 復習 > ・毎時間終了後に、講義中に学んだこと、学外研修で経験したことを大学生生活に活かす方法について考えることを求める（2時間程度）。		
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
< スポーツ健康コース > ・地域貢献活動などのフィールドワークを通して身につけた、幅広い年齢層に対応できるコミュニケーション能力やリーダーシップ力、マネジメント力を発揮することができる。 ・到達目標、を達成することで、他者とのコミュニケーション能力向上に繋がり、リーダーシップ力、マネジメント力を発揮できるようになる。 ・健康保持・増進やスポーツパフォーマンス向上などのための理論や指導法を学び、それを通して身につけたプレゼンテーション能力に基づく効果的な指導ができる。 ・グループ活動の多い科目内容であるため、到達目標、の達成に伴い、個人の意見を他者へ伝えるプレゼンテーション能力向上に貢献できる。 < スポーツマネジメントコース > ・「する」「みる」「ささえる」の視点で、スポーツをキーワードとする関連事業分野、業種において企画運営に携わることができる。 ・到達目標、の達成により、野外活動運営を通して、企画運営能力を養うことができる。 ・健康課題やスポーツ産業などの多様な社会的背景と今後の課題と対応策について、分析、評価、企画を行うことができる。 ・到達目標、の達成は学科のディプロ・マボリシーに直接的に関与しないが、野外活動を通して、様々な現状における課題とその対応策などについて分析評価できる。		
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述		
なし		
実務経験の有無及び活用		
なし		
備考		
・授業の内容や進め方は社会情勢や受講生の理解度に応じて変更する場合がある。 ・欠席前については履修要項p.58に記載の通り対応する。必要な書類が揃っていない場合は受け取ることができないので事前によく確認してから提出すること。 ・講義期間中に受講に関わるトラブルが発生した場合は担当教員までメールにて連絡すること。その際、学番号等・氏名・受講している講義名・トラブルの詳細を必ず本文中に記載して連絡すること。記載がない場合は回答しないことがある。		